

無料版

12月号

ユーストカー NEWS

毎月1日発行
第128号 定価 850円 (税込み 935円・送料別途)
本社 東京都新宿区高田馬場3-23-3 ORビル6階
☎03(3371)9340 FAX 03(3371)9596 www.u-car.co.jp
本紙の無断転載・複製を禁じます

購読・広告のお申し込みは
☎03-3371-9340
発行所 (株)ユーストカー (株)ユーストカードットコム

《8~9面》

2023

振り返り

総まとめ スペシャル



2024年の見通し

2023年は世界的に大きく荒れた一年だった。22年から続いたロシアウクライナ紛争の泥沼化、さらにイスラエル・パレスチナ紛争が勃発。国内では新型コロナウイルスが5類に移行するなど、枚挙に暇がない。

中古車相場に関しても非常に予測しづらい一年であった。お恥ずかしい話だがユーストカーLINE WSとしても今年の1月号で予想した見通しを急ぎよ撤回し、方向転換した。

為替相場の変動によるメーカーの海外戦略の変化や何といてもコロナ明けの需給の変化、とどめはロシアへの制裁強化と多岐にわたり中古車相場に影響がでる要素がてんご盛りの一年だったといえる。さらに、単純に相場が高い安いではなく、一部車種や年式によりまちまちな値動きがあった。

今号ではそんな荒れた2023年をしっかりと振り返り、中古車相場の大きな変化を読み取り、2024年の相場を判断していくことが大切だ。

《2面へつづく》

裁判の弁護士費用っていくらなの？

24~23面

今年の相場動向から来年を予想!

業界最多の82会場とリアル接続!

オークション接続 出品台数 年間500万台の全国112会場
共有在庫接続 掲載台数 常時10万台の12市場



株式会社 アイオーク

〒102-0075 東京都千代田区三番町8-1
TEL.03-3512-6123

新規会員募集中!
入会資料請求はWEBサイトまたはお電話で受付OK!

https://www.iauc.co.jp
またはQRコードから
アクセス



2023

株価32年9カ月振り最高値更新、新型コロナ「5類」に移行、阪神タイガース38年振りに日本一

藤井聡太氏が史上初の八冠、大谷選手が日本人初のホームラン王

今年一年振り返り

輸出が相場を左右した2023年11月20日 けん引役は、やはりロシアだった

輸出全般

中古車輸出動向が相場に大きく影響を与えていることは改めて述べるまでもないが、2023年は中古車輸出史上、最も多い140万台規模に達する可能性が高い。

けん引役となっているのがロシアで、1月から9月までの累計輸出台数は対前年同期比29.4%増の17万8707台、2位のアラブ首長国連邦(UAE)を4万台近く引き離した。ロシアは通年でも首位となる可能性が高い。

だが、今年の特徴はロシア以外の国も多くの中古車が輸出されていることだ。同じく9月までの累計輸出台数と対前年同期比を見ると、UAEが13万8968台/40.6%増、3位のニュージーランド(NZ)8万7422台/38.5%増、4位のタンザニア5万8904台/15.3%増、5位のモンゴル5万5040台/46.5%増など。上位25カ国のうち、前年同期の実績を下回ったのはマレーシア(2万7499台/8.0%減)とフィリピン(2万5758台、バンクアラブ(1万4341台/42.1%減)の3カ国だけだった。

多くの仕向国で「脱コロナ」が進んだこと、円安、そして自動車専用船の空きスペースは厳しかったものの、コンテナ運賃が下落したことなどが輸出増に結びついた模様だ。

輸出状況：ロシア

国別ではどうか。中古車輸出で台風の目だったのは今年もロシアだ。ロシアはもともと主要中古車輸出先のひとつだったが、22年2月のウクライナ侵攻の影響で輸出激減し新車不足を追い風に大幅増と、昨年は台数が大きく変化した。今年からは年初から22年実績を上回る台数が輸出されていたが、8月に日本政府

輸出状況：UAE

2位のアラブ首長国連邦(UAE)は中古車輸出の中継国のため、UAEへ送られた中古車の最終仕向地は不明だが、主にアフリカと中東、アジアの3つの流れがあると見られている。このうちアフリカは国によって事情は様々だが、4位のタンザニアのように経済成長を遂げている国も少なくない。

輸出状況：NZ

3位のニュージーランド(NZ)は21年7月1日に電気自動車やプラグインハイブリッド車(PHEV)といった低炭素型自動車の購入を補助する制度を導入。22年には炭素排出量の多い車両にはペナルティを課す制度も始まった。以前は日本からの中古車輸入は減少すると予測されていた

電気自動車(EV)は火災が起こると消火が難しく、船会社が運搬を敬遠していることから、今後は輸出が大幅に減ることが予想されている。

将棋の藤井聡太さん史上初の八冠に(10月) 円安進行 1ドル再び150円に(10月)

大谷翔平選手、日本人初の大リーグホームラン王(10月) 34スカイラインGT-R、AA落札価格5264万円(10月)



8月	9月	10月	11月	12月
2日 トヨタ ランドクルーザー250 (発表)	6日 BYD ドルフィン 23 トヨタ センチュリー (発表)	2日 ホンダ N-BOX 24 大谷翔平選手、日本人初の大リーグホームラン王	25日 SUBARU レヴォーグ レイバック (発表) 25 円安進行、1ドル150円に日本のGDP、4位転落	未定 トヨタ クラウンスポーツ 26 トヨタ クラウンセダン 28
9日 原発処理水の海洋放出開始	20日 メルセデス・ベンツ EQE SU 22	6日 ホンダ N-BOX 24	13日 トヨタ クラウンセダン 28 9日 トヨタ クラウンスポーツ 26	13日 トヨタ クラウンセダン 28 9日 トヨタ クラウンスポーツ 26
15日 全国高校野球で慶応高校優勝	20日 トヨタ センチュリー (発表) 21	7日 パレスチナ、イスラエルへ大規模攻撃	11日 トヨタ クラウンセダン 28 13日 トヨタ クラウンスポーツ 26	13日 トヨタ クラウンセダン 28 9日 トヨタ クラウンスポーツ 26
23日 スーダンで武力衝突	20日 BYD ドルフィン 23 トヨタ センチュリー (発表) 21	8日 計報 谷村新司さん	11日 トヨタ クラウンセダン 28 13日 トヨタ クラウンスポーツ 26	13日 トヨタ クラウンセダン 28 9日 トヨタ クラウンスポーツ 26
24日 日本政府、ロシア向け乗用車輸出規制強化	20日 BYD ドルフィン 23 トヨタ センチュリー (発表) 21	11日 将棋の藤井聡太氏史上初の八冠に	11日 トヨタ クラウンセダン 28 13日 トヨタ クラウンスポーツ 26	13日 トヨタ クラウンセダン 28 9日 トヨタ クラウンスポーツ 26
25日 メルセデス・ベンツ EQE SU 22	20日 BYD ドルフィン 23 トヨタ センチュリー (発表) 21	12日 アウディ Q4 e-tron 27	13日 トヨタ クラウンセダン 28 9日 トヨタ クラウンスポーツ 26	13日 トヨタ クラウンセダン 28 9日 トヨタ クラウンスポーツ 26
31日 そごう、西武労組、ストライキ実施	20日 BYD ドルフィン 23 トヨタ センチュリー (発表) 21	12日 アウディ Q4 e-tron 27	13日 トヨタ クラウンセダン 28 9日 トヨタ クラウンスポーツ 26	13日 トヨタ クラウンセダン 28 9日 トヨタ クラウンスポーツ 26

主な出来事と発売された新車



1年間総まとめ
スペシャル

主要国向け中古車輸出台数の推移 (2022年10月~23年9月)



が、実際には昨年の実績を超えている。今後はロシアへ向けなくなつた電動車のうち、価格が比較的安いものがNZに流れらるだろう。

輸出状況・タンザニア

4位のタンザニアは、2021年までは東アフリカとしてはケニアに次ぐ中古車仕向けだったが、22年にケニアを逆転。今年も9月までの輸出実績はケニアに1万3000台以上の差をつけている。ケニアと違って年式制限がないため乗用車平均価格は(FOB価格)は48万5000円(ケニアは106万円)にとどまるが、安定した経済成長に支えられ、輸出は順調に増えている。

かつてはタンザニア向けの大半がイストだったが、最近ではヴァンガードや30系ハリアー、80系シエンタなど、車種のバリエーションは広がっている。

輸出状況・モンゴル

5位のモンゴルについてはロシアと国境を接していることから、8月の規制強化でロシアに行けなくなった車種がモンゴル経由でロシアに流れているのではないかと、との憶測が広がった。だが、編集部調査ではモンゴル経由ロシア行きの実績はつかめていない。確かにモンゴル向けの輸出は増えており、なかでもロシアへ向けなくなったガソリンHVの伸びは顕著(8月6031台、9月6949台)だが、平均単価は60万円近い差があるからだ。

NZと同様に、ロシアへ向けなくなったことで相場が下落したHVがモンゴルに拾われているのではないだろうか。

車種別

あくまでユーザーNEWS編集部独自の調査の結果であり、中古車

大物のフルモデルチェンジが連発した2023年

年明け早々の1月には、新型プリウスがデビュー。デザインを一新し、近代的なスポーツカーの姿へと大変身を遂げた。また、BYDがBEVのATTO3を日本市場へ初めて投入。同社は2025年までには店舗数100以上をめざすという新進気鋭の中国系メーカーだ。

3月には日本でもファンの多いルノーの新型カンゲーが登場。またプリウスのプラグインハイブリッド車が追加、レクサス初のBEVとなるRZも発表となった。4月には新型インプレッサと新型ZR-Vが、5月には新型デリカミニが登場した。

続く6月には新型アルファードと新型ヴェルファイアが登場。発売開始するや否や注文が殺到し、納期は2年待ちという状況に至っている。8月にはランドクルーザー250が突如発表。発売は2024

年以降となるが、こちらも受注殺到は間違いないだろう。

ジャパンモビリティショーを控えた秋は、まず9月に新型センチュリーが登場、10月には新型クラウンセダンと新型クラウンスポーツ、さらには新型レヴォーグレイバック、新型N-BOXなど、名だたる名車の新型が続々と発表となった。11月にはレクサス新型LBXも発表されている。

このように大物のフルモデルチェンジが続いた2023年だったが、国内で勢いのあったメーカーはトヨタとスバルのなど。日産からは新型車の登場はゼロだった。一方で海外メーカーは日本市場へ続々とBEVを投入し、日本国内でのシェア拡大を狙っている。2024年はトヨタ以外の日本メーカーの活躍も期待したい。(自動車ジャーナリスト吉川賢一)

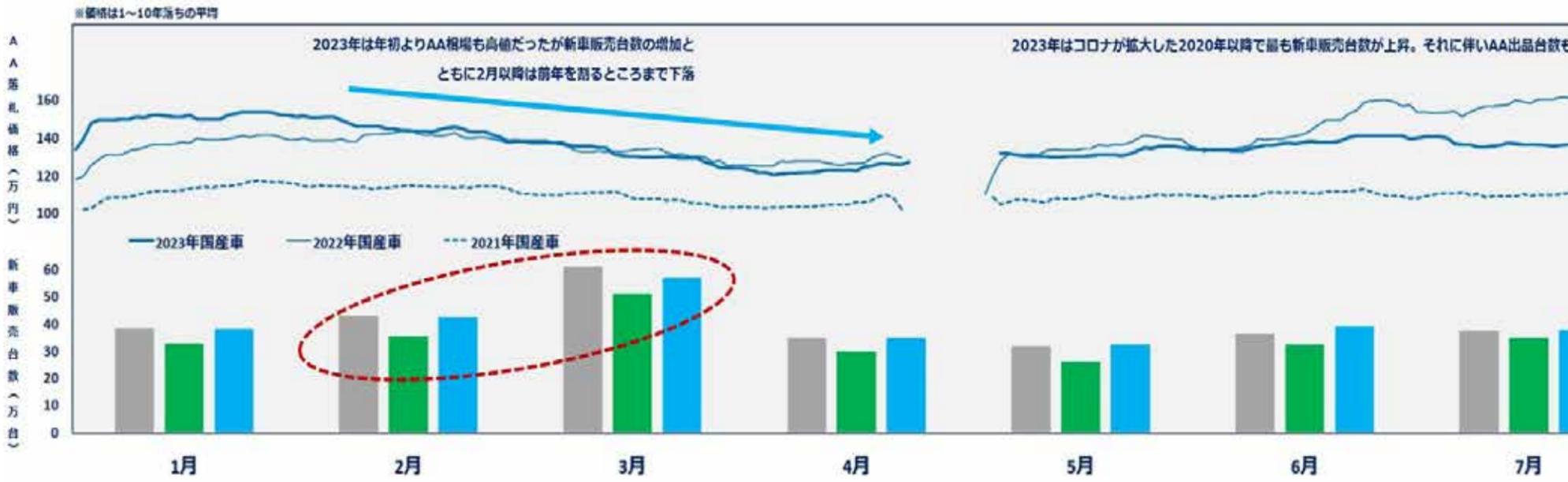
輸出全般の状況を表すものではないが、23年1~9月の国別車名別型式別輸出トップはマレーシア向けのアルファード(A GH30W)。これにフリード(GB3)、ヴィッツ5D(KSP130)、ウィッシュ(ZGE20W)、シエンタ(NSP170G)の各ロシア向けが続いた。マレーシア向けのAGH30Wヴェルファイアは12位。GB3フリード、

KSP130ウィッツ5D、ZGE20Wウィッシュ、NSP170Gシエンタは日本政府の輸出規制には該当しないため、今後もロシアに輸出される見通しだ。

なお、ロシア向けとしては輸出規制に抵触しない小排気量ガソリンの輸入車も輸出が増えている。相場の動向には注意が必要だろう。

ロシアのウクライナ侵攻から1年(2月) **40系アルファード / ヴェルファイア発売(6月)** **日本政府、ロシア向け乗用車輸出規制強化(8月)**

WBCで日本が3大会ぶり世界一(3月) **G7広島サミット開幕(5月)** **新型アルファードハイブリッド、AA落札価格2578万円(7月)**



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
10日 トヨタ プリウス(ハイブリッドモデル)	7日 トルコ・シリア大地震	2日 ルノー カンゲー	20日 SUBARU インプレッサ	5日 新型コロナ「5類」に移行	1日 ランドローバー レンジローバースポーツ	1日 プジョー 408
11日 BMW XM	17日 BMW M2	3日 トヨタ プリウス	21日 ホンダ ZR-V	6日 マセラティ グレカール	7日 ランドローバー ディフェンダー1300	
18日 BMW M3 ツーリング	24日 メルセデス・ベンツ Bクラス	15日 メルセデス・ベンツ GLC	28日 レクサス RZ	8日 フィアット ドフロ	21日 アウディ eクワトロ	
20日 BMW M3 ツーリング	27日 メルセデス・ベンツ Aクラス/Aクラスセダン	16日 メルセデス・ベンツ GLC	30日 レクサス RZ	11日 マセラティ グレカール	26日 アウディ A8 60 TFSI	
26日 BYD ATTO 3		21日 WBCで日本が3大会ぶり世界一		19日 G7広島サミット開幕(21日)		
31日 BYD ATTO 3		28日 WBCで日本が3大会ぶり世界一		25日 三菱 デリカミニ		



今年変動の大きかった個別車種の相場動向

平均価格
台数

※評価点4点以上 走行距離10万キロ以下
2022年11月中旬～2023年11月中旬のAA落札3週間平均でのグラフ

トヨタ アルファード AGH30W S_Cパッケージ



【相場動向】
新型が出てもお高値を維持している。マレーシア向け輸出の好不調が大きく価格に影響を与える。2024年に新型がマレーシアに行くようになる時期からは注意が必要。

トヨタ アルファード AGH40W Z



【相場動向】
新型発売直後、1400万円を超える高値を記録したものの、1ヵ月で急落。9月移行は900万円台をキープ。2024年夏以降マレーシア向け輸出が価格に影響を与えると思われる。

トヨタ ランドクルーザープラド TRJ150W TX_Lパッケージ



【相場動向】
5月頃パキスタンへの輸出が回復傾向となり相場が上昇。ロシア向け輸出の新たな規制の情報が出た夏以降、下落が続いており年末も下落傾向が予測される。

ホンダ CR-V RW2 EXマスターピース

有料版では、モザイクの部分をお読み頂く事ができます。
お申込みは 電話03(3371)9340まで!



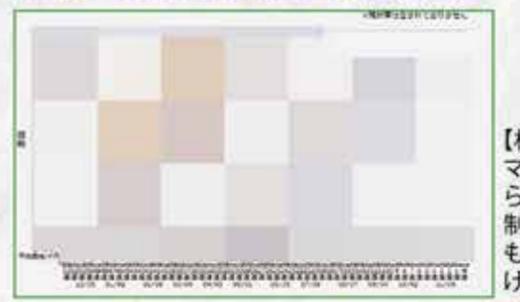
【相場動向】
ロシア向け輸出の新たな規制の情報が出た夏以降、規制対象外だったため急上昇。出品台数こそ少ないが年末も高値を維持している。

トヨタ ハリアー ZSU60W プレミアム



【相場動向】
マレーシア輸出が80系にシフトしたことにより、年始から下落が続いている。ロシア向け輸出の新たな規制対象でもあるため、下落が続いている。

ホンダ ステップワゴンスパーダ RP3 スパーダホンダセンシング



【相場動向】
マレーシア輸出の低調と同時に年初から下降していたが、ロシア向け輸出の規制対象外だったため急上昇。出品台数も多く高値を維持しているが年末に向け若干の落ち着きをみせている。

ダイハツ ミライース LA350S X_SA3



【相場動向】
パキスタン向け輸出復活に伴う相場上昇の代表格。現地の新年度以降も低排気量の関税が低いため、高値を維持。パキスタン向けの輸出が横ばいになり、相場も横ばい。

スバル フォレスター SK9 Xブレイク



【相場動向】
ロシア向け輸出で高値を維持していたが、排気量において新たな規制の対象となり、急降下。規制対象外となったSK5型はこれとは対照に上昇することとなった。

あなたの「したい」にお応えする
中古車取引のwebサービス

いつでもどこでも
TAA/CAA

webサービスでビジネスをサポート

買う 売る 探す 管理する



TC-web

外出先でも
応札できる

webリアル

常時
掲載台数

約10万台

※ストックワンプライス含む

AA
接続会場数

業界最大級
全国91会場

※2023年8月時点

スマホがオークション会場

「TCアプリ」好評配信中!

利用料 0円

ダウンロードはこちら

ストアアプリで検索 TCアプリ

アプリの便利な機能 / プッシュ通知

セリの開始・結果 会場からのお知らせを タイムリーにお届け

iPhone Android

ご入会も簡単! 新規入会募集中!

入会金 10,000円 (税別) 月額費 3,800円~ (税別)

トヨタ・オート・オークション

北海道会場 0123-28-8700
北関東ヤード 027-257-0613
近畿会場 072-826-3486
関西ヤード 089-904-3297

東北会場 024-963-0388
横浜会場 045-628-6000
滋賀ヤード 077-507-1159
九州会場 0942-41-2266

仙台ヤード 022-390-0125
中部会場 059-366-2810
兵庫会場 0798-44-3201
南九州会場 0995-54-1511

関東会場 043-246-5211
静岡ヤード 0538-77-2060
広島会場 082-437-2600

冠ヶ谷ヤード 0480-77-7391
2階ヤード 076-205-0370
四国会場 0875-56-2400

株式会社シグマネットワークス

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-9-10 茅場町プロードスクエア 8 階
TEL 03-6757-7800 FAX 03-6757-7801

TC-web
https://taacaa.jp/